

## 歴史(日本の中国侵略)

1928年、①\_\_\_\_\_の率いる中国国民党が中国をほぼ統一し、日本が持つ満州の権益の回収を唱えるようになった。一方で、満州を中国から分離することを主張していた日本の関東軍は、1931年、柳条湖で満鉄の線路を爆破し、それをきっかけに軍事行動を開始した(②\_\_\_\_\_)。そして、1932年、③\_\_\_\_\_の建国を宣言し、実質的に支配した。

当時の④\_\_\_\_\_内閣は、⑤\_\_\_\_\_の承認に反対した。しかし、⑥\_\_\_\_\_年、④\_\_\_\_\_は海軍の将校に暗殺された(⑦\_\_\_\_\_事件)。また、国際連盟が③\_\_\_\_\_を認めず、撤兵勧告を出してきたため、日本は国際連盟を脱退した。⑧\_\_\_\_\_年、陸軍の青年将校が、軍事政権の樹立によって政治改革を実現しようとして、首相官邸や警視庁などを襲撃した(⑨\_\_\_\_\_事件)。この事件以後、日本は軍備の拡張をいっそう進めていった。

